

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して。～トヨタ環境チャレンジ2050～

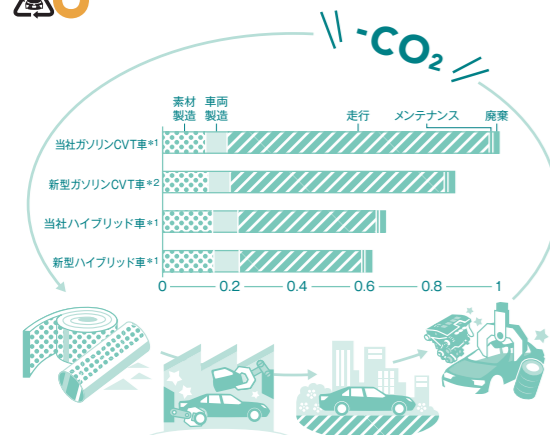
トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ と、プラスへのチャレンジ)を実施していきます。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/challenge2050/>



ゼロ CO₂ “0”へのチャレンジ ～環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み～

CO₂0 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ



トヨタはクルマの一生のCO₂削減をデザインしています

トヨタでは燃費を良くするだけでなく、設計段階から、製造・廃棄・リサイクルにいたるクルマの一生を通して、CO₂排出量を削減するための取り組みを行っています。

*1. 1.8L *2. 1.2L



トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」:Life Cycle Assessment)で評価し、自動車の生涯走行距離10万km(10年)で計算した場合の結果を指数で示しています。

トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

CO₂0 新車CO₂ゼロチャレンジ



燃費の良いクルマを選ぶと、CO₂の削減に協力できます

クルマは、燃費が良くなればなるほど、CO₂の排出量を削減することができます。トヨタでは、燃費を向上させるために、あらゆる部品の軽量化や効率化を推進しています。

CO₂0 工場CO₂ゼロチャレンジ



トヨタはエコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています

カローラスポーツをつくる工場では、テニスコート60面相当のソーラーパネルを導入し、一般家庭約500軒分*3の再生可能エネルギーを、工場の動力に活用しています。さらに、新塗装技術によるCO₂排出量の大幅な削減で、第63回大河内記念生産賞*4を受賞するなど、生産技術の開発や日常改善によるCO₂排出削減に日々取り組んでいます。

*3. 定格出力2,000kW *4. 大河内賞は、公益財団法人 大河内記念会が毎年、生産工学、生産技術の研究開発、ならびに実施等に関する顕著な功績を表彰するもので、日本で最も権威ある賞のひとつです。

地球環境へ プラス “+”のチャレンジ

～より良い環境をつくるための
トヨタの取り組み～

人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ



トヨタの工場では、
クルマと森をつくっています

自然と調和する工場をめざし、2008年に「工場の森づくり」がスタートしました。工場がある地域に昔から自生している樹木を調査し、ドングリから苗を育成。従業員とその家族、地域の方々5,000人が植樹を行い、約50,000本の木々が大きく育ちました。絶滅の恐れがある希少なサンショウクイなど、さまざまな鳥たちが羽休めに立ち寄っています。

トヨタ カローラ スポーツ 環境仕様		6AA-ZWE213H		3BA-NRE210H			3BA-NRE214H			
車両型式		L		1.797			1.196			
エンジン	総排気量	L		1.797			1.196			
駆動装置	駆動方式			前輪駆動方式			四輪駆動方式			
	変速機			電気式無段変速機			CVT 6MT CVT			
車両重量		kg	1,360	1,390	1,310	1,340	1,300	1,330	1,370	1,400
	WLTC	燃料消費率*1 (国土交通省審査値)	km/L	30.0	25.6	16.4	15.8	15.2		
燃料消費率	CO ₂ 排出量	g/km	77	91	142	147	153			
	JCO8	燃料消費率*1 (国土交通省審査値)	km/L	34.2	30.0	19.6	18.0	16.4	15.4	17.2
参考	CO ₂ 排出量	g/km	68	77	118	129	142	151	135	
	2030年度 燃費基準優良車 *2*3		-							
排出ガス	認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)		平成30年基準 排出ガス75% 低減レベル*3			平成30年排出ガス規制適合*3				
	認定レベル値 または適合規制値	COMHCNOx	g/km	1.15/0.025/ 0.013		1.15/ 0.10/0.05				
車外騒音	加速/定常/近接*4	dB	70(規制値)/-/68		70(規制値)/-/73	70(規制値)/-/79	70(規制値)/-/71			
	冷媒の種類(GWP値*5)/使用量	g	HFO-1234yf(1*6)/470							
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*7)								
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)								
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)								
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)								
車室内VOC*9		自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*10以下)								
	リサイクルし易い材料を使用した部品	TSOP*11	インストルメントパネル、バンパーカバー、センターピラーガーニッシュなど							
リサイクル関係	樹脂、ゴム部品への材料表示	TPO*12	カウルルーバー、SRSカーテンシールドエアバッグ、ガラスランなど							
	リサイクル材の使用		雑反毛		フロアカーペット、サイレンサー類		タンクカバー			

フロンラベル

この商品で使用しているガスの
地球温暖化への影響は?



*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準 *3. WLTCモード走行 *4. 平成28年騒音規制 *5. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) *6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。 *7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 *8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ、室内蛍光灯)を除く。 *9. VOC: Volatile Organic Compounds *10. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値 *11. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer *12. TPO: Thermo Plastic Olefin

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

リサイクル料金表

全車	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
	7,460円	1,930円	-	130円	290円	9,810円

■リサイクル料金は'21年7月時点の金額。

■リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者(譲受人)からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは取り扱い販売店におたずねください。